



TOBIUME
SHIN KUMI

とびうめ信用組合の現況
より一層ご理解を深めていただくために……。

2011
Disclosure

ごあいさつ



とびうめ信用組合
理事長
中尾 信行

皆さまには、平素より「とびうめ信用組合」に格別のご愛顧とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび当組合の現況(平成22年度第63期)について、より一層のご理解を頂くために、経営方針・事業内容・業績等をまとめたディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧くださいますようお願い申し上げます。

平成22年度におきましては、内外とも予断を許さない経済環境の下、貸出金増強による収益力の強化に努めるとともに、不良債権については引当・償却を促進し、信頼性・健全性の確保に努めて参りました。国内景気は平成23年に入り、徐々に自律的な回復基調が見られていましたが、3月11日に発生した東日本大震災が経済の活動に甚大な被害をもたらしており、23年度以降の経済に対する悪影響は避けられない状況です。

このような時こそ「ともに働き、ともに豊かに」の精神で、地域の皆さま方にお役に立てる金融機関を目指して、役職員一同一体となって、金融仲介機能の強化と利便性の向上に努めて参りますので、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年7月

CONTENTS

ごあいさつ	1
経営理念・経営方針	2
事業の概況	2
お客様にご安心いただくために	3
地域貢献に向けた取組み	7
業務のご案内	12
総代会について	15
自己資本の充実の状況	17
資料編	24
索引	34

「とびうめ」のプロフィール

(平成23年3月31日現在)

- ◆ 名 称 とびうめ信用組合
- ◆ 本店所在地 福岡県福岡市東区箱崎1丁目10番8号
- ◆ 創 立 昭和23年6月21日
- ◆ 組 合 員 数 23,916名
- ◆ 出 資 金 1,107百万円
- ◆ 店 舗 数 17店舗
- ◆ 職 員 数 149名
- ◆ 預金積金残高 76,410百万円
- ◆ 貸出金残高 51,045百万円

経営理念・経営方針

経営理念

とびうめ信用組合は、『ともに働き、ともに豊かに』を合い言葉に、健全性の確保、信頼性の向上に努めると共に、組合員をはじめとする地域の事業者、生活者の方々の繁栄を第一に考え、きめ細やかな金融サービスの提供を行い、豊かな地域の創生と経済・文化の発展に貢献します。

経営方針

- 私たちは、お客様の揺るぎない信頼を得るために、倫理観ある行動に徹して参ります。
- 私たちは、適正なリスク管理体制の構築に努めて参ります。
- 私たちは、積極的な情報開示に取組み、経営の透明性を高めて参ります。
- 私たちは、お客様のことを第一に考えて、苦情・相談業務体制と事業支援体制の充実を図って参ります。
- 私たちは、質の高い金融サービスを提供するために、常に自己研鑽に努めて参ります。

事業の概況

平成22年度のがわが国経済は、4月の資金決済法、改正労働基準法などの施行でスタートし、6月には子供手当の支給開始と、総量規制を柱にした改正貸金業法が完全施行されました。9月には日本振興銀行が金融庁に破綻を申請し、ペイオフが初めて発動され、10月には日銀が物価の安定が展望できる水準が見通せるまで政策金利を0～0.1%に引き下げる事を決定しました。また、中小企業金融円滑化法は3月末までの時限立法でしたが、平成24年3月末まで1年間延長されました。

このような経済の状況下、企業努力や輸出の持ち直し、あるいはエコポイント制度や緊急保証制度等の政策効果により耐えていた最中、3月に東日本大震災が発生し、更に景気の不透明感が強まる状況となりました。

このような中、当組合の平成22年度の業績は以下のようになりました。

預金推進においては、定期預金を中心に推進したものの、定期積金残高が442百万円減少したこともあり、期末残高は76,410百万円となり前期比で908百万円減少しました。貸出金推進においては、住宅・アパートローンを中心に推進したものの、地方公共団体への貸出金が399百万円減少したこともあり、期末残高は51,045百万円となり前期比で1,448百万円減少しました。

収益面では、物件費をはじめ費用の削減に努めたものの、取引先の倒産や業況悪化等により、個別貸倒引当金繰入333百万円を計上し、当期純利益は54百万円となり前期比で48百万円減少する結果となりました。

平成23年度も経済の先行きの不透明さ、円高、高水準にある失業率など厳しい状況を引き継いだままスタートしております。

当組合はこの様な経済環境を踏まえ、地域経済を支えておられます中小零細事業者や地域の生活者の皆様に対し、地元の金融機関としての信頼を得られるよう、金融サービスの向上に努め、役職員一同一体となり、努力を重ねてまいります。